

< その他、取組に特徴のある事例 >

将来にわたって持続的な農業を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道厚岸郡浜中町 <small>あつけしぐんはまなかちょう</small> 浜中・別寒辺牛 <small>はまなか・べかんべうし</small>			
協定面積 12,613ha	田	畑	草地(100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 18,919万円	個人配分			45%
	共同取組活動 (55%)	農業生産活動等		27%
		集落協定による多面的機能を増進する活動		27%
		その他	1%	
協定参加者	農業者 202人、生産組織 1、農業生産法人 3			

2. 取組に至る経緯

当集落は高齢化の進展とともに「農家戸数の減少」・「農業生産力の低下」・「離農跡地を中心とした耕作放棄地の発生」が懸念されている。当集落では関係者が一致協力をして将来にわたって持続的な農業生産活動を可能とすることにより本集落の持つ多面的機能の確保を図るため、様々な取組を行っていくこととした。

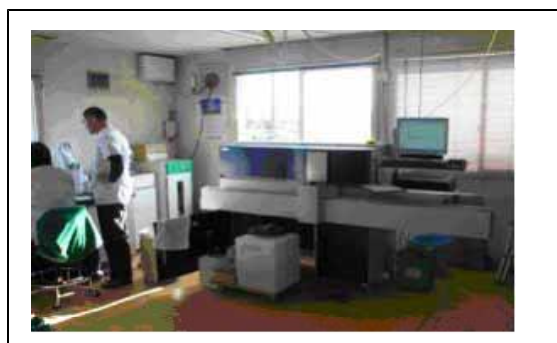
3. 取組の内容

農業生産活動

- ・生乳生菌検査機器：生乳生菌検査機器（バクトスキャン）を導入することにより、検査時間の短縮につながり、結果をすぐに農家に知らせることができるようになった。乳房炎などに対して、早い対応ができるようになり、より安心、安全な牛乳生産が可能となった。
- ・生乳集荷道路整備：牛舎処理室前の舗装を行なうことにより、粉塵対策、融雪時や雨天後の泥濘対策、また、家畜防疫対策がとれるようになり、衛生的な集乳が可能となったため、安心、安全な牛乳の生産に大きく役立っている。
泥濘化しない、除雪が容易になる、雑草の防除ができるなど、衛生面だけではなく環境整備の面でも重要な役割を担っている。



牛乳処理室周辺の生乳集荷道の舗装整備



生乳生菌検査機器（バクトスキャン）の導入

[集落の将来像]

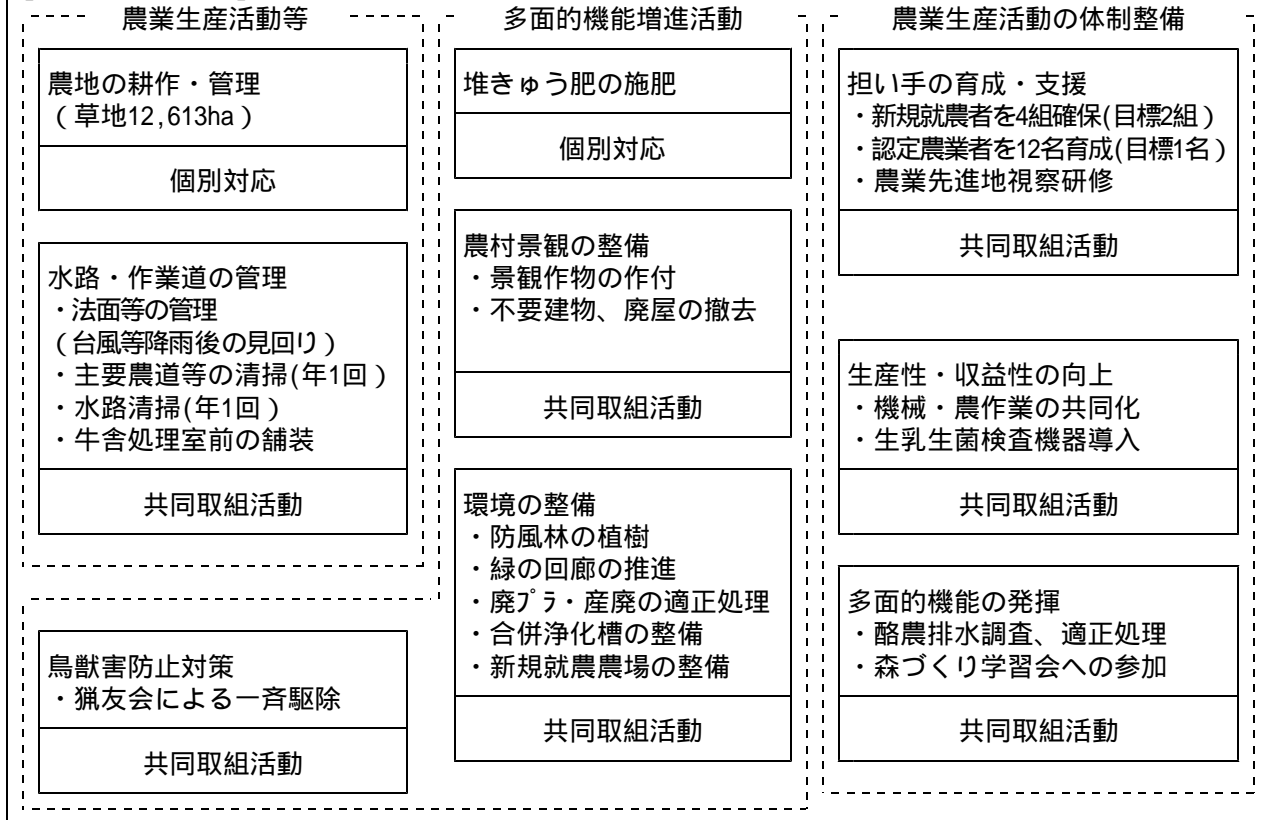
緑の回廊の推進や酪農排水適正処理、防風林や景観作物の作付等の取組により、環境に配慮した営農を目指すとともに、生乳生菌検査機器の活用や牛舎処理室前の舗装による衛生面への配慮等により今まで以上により一層、安心、安全な牛乳作りを目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

新規就農者の確保・農作業受委託の推進・土壌分析調査等による適正な草地管理の推進

[活動内容]



集落外との連携

酪農大学、地元小学校やNPOと連携を取り、酪農排水の調査を実施し、適正処理に生かしているほか、学校、自治会、漁協、NPOなどが参加する「森づくり学習会」にも積極的に参加している。

4. 取組による変化と今後の課題等

持続的な農業生産活動を将来に渡って行なっていくには、環境問題は不可欠と考えております。今般までおこなってきた酪農排水の浄化施設の設置などにより綺麗な水作りの一歩を歩めたと考えております。今後の課題としては、食の安心・安全のもと農業生産活動を持続的に行っていくため環境保全のより一層の努力をしていきたいと考えております。

[平成20年度までの主な成果]

- ・防風林等の植樹・・・H18年～H20年 29.37ha
- ・景観木の提供・・・H17年～H20年 24,299本
- ・新規就農農場整備・・・H17年～H20年 5戸の新規就農農場整備
- ・建物廃屋解体・・・H17年～H20年 89戸の不要建物解体により景観の確保
- ・生乳集荷道路整備・・・H17年～H20年 149戸 29,800㎡
- ・酪農排水施設・・・H17年～H20年 113戸実施(3槽柵の浄化施設 排水のモデル)